

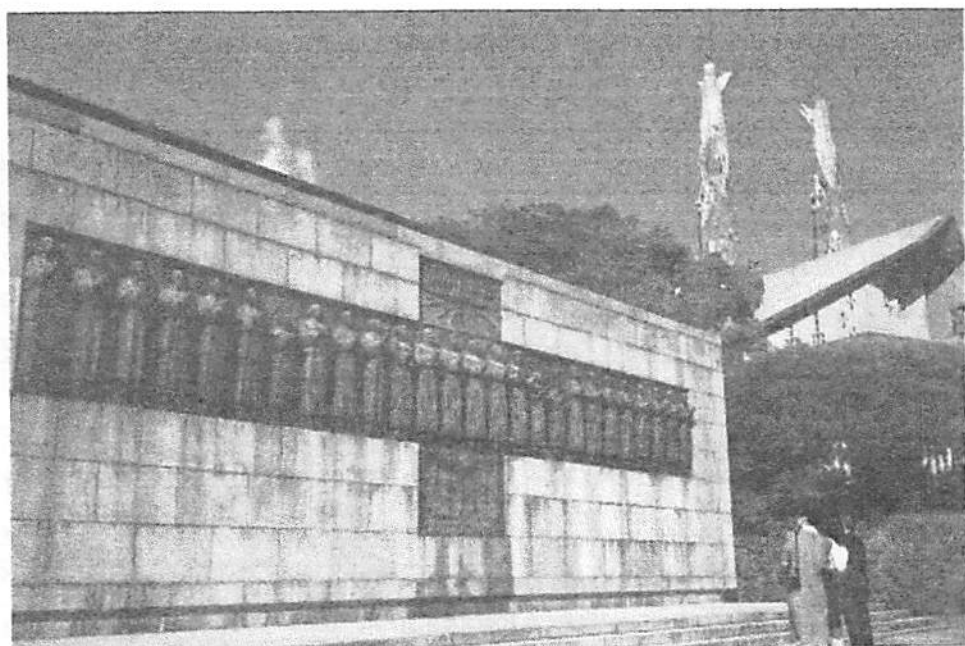


カトリック

三軒茶屋教会

# おとずれ

2016年2月7日発行 第61巻 第1号



新年号

## 四旬節

主任司祭 ミカエル 湯澤 民夫 神父

今年もそろそろ四旬節が始まる。待降節の場合もそうであるが、四旬節が近づくと特に、ごく自然に、今年は何を犠牲にしようかなと思う。「自然的に」というより、「自動的に」、或は、「条件反射的に」といった方が良いかもしれない。新年にあたっての「今年の決意」のように、気合だけで終わることもある。大それたことを考え、とても完全に守り切れず、毎日が妥協の産物のような場合もある。結果は別にして、毎年何か決意をしてきたような気がする。

今思い起こしてみると、若い時は、かなり厳しく設定したと思う。下宿を出てから大学の門まで十分、門を入れて教室まで十分、うまく歩調を合わせて歩けば、ロザリオが五連唱え切れた。このあたりが標準で、一日三食のうちの一食を抜くなどということは、早々に挫折した。神学生の時代は、数人と一緒に「無精ひげを伸ばす」ということをしたことがある。教会に出ると、親しい信徒さんから、「汚らしいから……」と言われるが、そうした笑い、嘲笑、軽蔑を味わうことで、少しでもキリストの屈辱を味わおうという企画ある。結果は、一人抜け、一人抜け、次々と挫折して、私も、挫折した。

最近、フツと思う。まさに「自動的に」、或は、「条件反射的に」だなど。していることと、その意味が、結びついていないからである。頭では、「悔い改め」のしるしだと、「キリストの十字架にあやかるため」だと、分かっている。しかし、実感として、していることとその意味とが、うまく結びついていない、と感ずるのである。

四旬節の犠牲を何か設定して行うことは、自分からすることとして、それとは別に、十字架の道行きに参加しようと思っている。気持ちとしては、「参加する」より、「与る」という気持ちである。誰かほかの司祭が十字架の道行の司式をしてくれて、私は、一信徒として「与りたい」という気持ちである。司祭である立場上、司式をすると、「与る」というより、「司式する」、「リードする」という気持ちになってしまうのである。使命感のようなものが心に起ると、どうしても、「犠牲」という、「捧げる」という心と違ったものを感じてしまうのである。「司式する」ことが良くないわけではない。どうしたら参加してくれた信徒が、靈的にキリストの十字架への道と一つになれるだろうか、そう思いながら、かなり意識的に司式するから、司式できることの素晴らしさを感じる。その代わりに「捧げる」といった個人的な感情は、遠のく気がするのである。

中学か高校か、いつのころからかは忘れたが、四旬節になると、毎金曜日に三時から行われる十字架の道行きに、母と参加していた。連れていかれたという気持ちの記憶がないから、自分からついて行ったのだろうと思う。ごく自然だったような気がする。四旬節の様々ことが自然だったらいいなと思う。

## エボラ出血熱終息宣言！

宣教クララ修道会・Sr 吉田富美子

ともに歩む会の皆さま

昨年、11月7日、待望の「エボラフリー」が発表されました。一昨年の5月から1年6か月、これでやっと普通の生活に戻れます。

経済的困難は、改善されたわけではありませんが、少なくとも、「エボラ」の名前を口にする事なく、生活できるのは、大きな喜びです。今朝6時頃から、ルンサの町中大きな歓声があがりました。

3,955名の犠牲者を出した、シエラレオネですが、一昨年の11月より、人々はより注意深く、忍耐強く、互いに注意をし合いながらこのウイルスと戦ってきました。

これからは、孤児となった子供のサポートや、一度に多くの、突然の死を体験した生徒のトラウマにどう寄り添って行くなど、問題も残っていますが、とにかくエボラから解放されたという喜びのニュースを、皆さまにお届け致します。

(ともに歩む会・会報10号より転載)



## 殉教者ユスト高山右近が福者に

教皇フランシスコは2016年1月21日、日本のカトリック教会がかねて念願と  
していたユスト高山右近の殉教を公式に宣言する教令に署名し、列福を正式に  
承認しました。

この決定は、キリシタン大名として名高いユスト高山右近の信仰の意義を、教会  
内外に知らせる貴重な機会です。

列福式の開催場所・開催日等については、教皇庁国務省、列聖省と、日本カトリ  
ック司教協議会で協議の上決定されます。

カトリック中央協議会のウェブサイトで、「ユスト高山右近」を特集として取  
り上げ、様々な角度から、その靈性について紹介していきます。ぜひご覧ください  
。また逐次、列福式の準備状況を配信いたします。

## 右近の列福の意義

ユスト高山右近（以下右近）が生きた16~17世紀初頭は、長く続いた戦乱がよ  
うやく収束して国が統一に向かう時代です。商業活動が活発化し、金銀や銀の  
発見などを背景に外国貿易が盛んになりました。経済的にも文化的にも活気溢  
れる雰囲気の中で、人びとは、知恵と才覚さえあれば、誰でも目に見える繁栄や  
権力、名誉が手に入るという夢をもてました。その気になれば、上を目指せる時  
代だったのです。

そのような時代に、右近はキリスト教の信仰に出会いました。右近は、まさに上  
を目指す戦国武将たちの世界に生まれ育ち、社会の中で認められる富や権力や  
名誉が、じつは、はかない、一時的なものに過ぎないことを見抜きました。右近は、  
実力派の大名と目される人物でしたが、絶えず上を求めるパワーゲームを離れ、  
人間を真に幸福にする信仰の道をあえて選び取ったのです。どのような人でも、  
無条件に愛される価値がある。その根拠は何か。右近は、人の価値は、才能や知識、  
能率・効率、業績によるのではなく、無条件に神から愛されている事実によるこ  
とを、イエス・キリストが伝えた福音から学び取ったのです。右近の生涯は

試練の連続であり、追放に追放を重ねる生活を余儀なくされました。地位も名誉も失い、流浪の生活が続き、ついに祖国を追われても、右近は神だけに愛される幸せを生き抜きます。神への信仰は、理論で理解できるものではありません。いのちを懸けた証しがあってこそ、信じるに足ると納得できます。殉教者のあかしがあってこそ、福音宣教は可能になるといっても過言ではありません。

現代は相対的価値観に支配され、信念を貫いて生きることが困難な時代です。そして、さまざまな生き方の選択肢を用意する現代、才能や能力の有無という価値観で負け組・勝ち組を振り分けようとする時代にあって、右近は、人間の救いはイエス・キリストの福音によると信じ、何が真の人間の価値であるか、何が人間を真に幸福にするかを見抜き、それに向かって主体的に自分の生き方を選び取り、どのような状況に置かれても、神と人への愛を選びの基準にする道を示しました。右近は、ぶれることなく、一つのことを選び続けたのです。右近が選び続けた道は、福音を聞いて神に従う生き方です。

右近の列福を機に、日本の教会は、右近があかししたイエス・キリストの福音は、確かに信じる価値があり、現代社会に大きな光をもたらすことを力強く訴えていけるでしょう。

(上記記事は、カトリック中央協議会のHPより転載)



## 2015年12月度 教会委員会

日時：2015年12月20日（日）9：25～10：25

出席：湯沢神父、教会委員（ ）、典礼（ ）、  
信仰養成（ ）、受付（ ）、営繕（ ）、広報（ ）、財務（ ）

### 1. 2015年11月～2016年1月の行事（予定）

- |                |   |
|----------------|---|
| ① 大掃除          | 11月8日（日）  |
| ② 五川通宜教協力体会議   | 11月8日（日）  |
| ③ 七五三          | 11月15日（日）   |
| ④ 王であるキリスト     | 11月22日（日）教会委員改選・馬小屋づくり  |
| ⑤ 典礼変更箇所説明     | 11月21・22日（土・日）ミサ後   |
| ⑥ 待降節黙想会       | 11月29日（日）   |
| ⑦ （中止）アドベントの集い | 12月6日（日）三軒茶屋地区5教会   |
| ⑧ クリスマスミサ      | 12月24日（木）聖劇 18:30- ミサ 19:00-/21:00-/23:00-<br>12月25日（金）ミサ 10:00-12月20日（日） |
| ⑨ 聖体奉仕者研修①     | 12月27日（日）@三軒茶屋  |
| ⑩ 新年のミサ        | 1月1日（金）   |
| ⑪ 主の公現         | 1月3日（日）   |
| ⑫ 新年会・新成人祝賀会   | 1月10日（日）  |
| ⑬ 聖体奉仕者研修②     | 1月17日（日）@三軒茶屋、③1/31@瀬田、④2/7@渋谷  |

### 2. 今月までの活動と気付き・反省点等

\* 特になし

### 3. 各委員会から

\* 典礼：クリスマスミサの時間を確認一例年通り。24日23時の夜半のミサは「コンテンポラリーミサ」ではなく、通常のミサ形式を踏襲。プログラムは別途作成。

\* 信仰養成：2/26に黙想会を開催。指導司祭は谷崎新一郎神父。案内のポスターは現在作成中。  
2016年度は「いつくしみの特別聖年」となるため、いつくしみの折りを月1回程度実施していく予定。

\* 財務：バザー収益金は約101万円。配分先などの詳細はおとずれにて別途報告。

\* 営繕：ワックスがけを実施。  
2016年度は厨房床の張替や照明のLED対応などを実施する予定。100～150万円程度の予算が必要となるため、現在財務と2016年度予算を調整中。

\* 広報：次回おとずれは四旬節前の2初を予定。

\* 受付：特になし

### 4. その他

\* 内藤神父さま銀祝：霊的花束を贈呈。

\* 教会委員新任・退任紹介：稲田委員（2期4年）、川島委員（1期2年）が退任。新任として鈴木子門さんが加入し、男性委員4名、女性委員2名、欠員2名の状態でスタート。欠員については引き続き、メンバー候補を募っていく。

次回教会委員会は1月17日（日）12：15～

次回活動G合同会議は2月21日（日）12：15～

以上

## 2016年1月度 教会委員会

日時：2016年1月17日（日）12：15～13：45

出席：湯沢神父、教会委員（小野、鈴木三、小林、金原、茂木）、典礼（安永芳）、  
信仰養成（洗川）、受付（津田、木村）、営繕（安永三）、広報（大坪）、財務（北村）

### 1. 2015年12月～2016年2月の行事（予定）

- |              |   |
|--------------|---|
| ① クリスマスミサ    | 12月24日（木）聖劇18:30- ミサ19:00-/21:00-/23:00-<br>12月25日（金）ミサ10:00- |
| ② 聖体奉仕者研修①   | 12月27日（日）@三軒茶屋 14:00-   |
| ③ 新年のミサ      | 1月1日（金）11:00-   |
| ④ 主の公現       | 1月3日（日）   |
| ⑤ 新年会・新成人祝賀会 | 1月10日（日）新成人参加1名   |
| ⑥ 聖体奉仕者研修②   | 1月17日（日）@三軒茶屋、③1/31@瀬田、④2/7@渋谷                                |
| ⑦ 灰の水曜日      | 2月10日（水）  |
| ⑧ 四旬節黙想会     | 2月28日（日）ミサ9:30-   |

### 2. 今月までの活動と気付き・反省点等

- \* クリスマスミサ：25日を含めミサ4回の参列者は計500名位だった。  
21時のミサ内でのローソクの使用方法を検討する。21時のミサは終了が22時になるため、帰りを急ぐ人が多く、茶話会は玄関ホールでのお茶だけでもいいのではないか。  
23時のミサのパンフレットの文字は小さかったのではないか。24日の21：00の

### 3. 各委員会から

- \* 典礼：四旬節、聖週間の予定表を配布する。2/7に灰を作成する。
- \* 信仰養成：2/26に黙想会を開催。指導司祭は谷崎新一郎神父。詳細はポスターを掲示。  
2/7より昼食券の予約をうけつける。
- \* 財務：1/23に財務委員会を開催し15年度の決算報告及び16年度予算を検討。
- \* 営繕：今年度の営繕計画を立案。
- \* 広報：おとずれ次号は2/7発行予定。おとずれ原稿は最終ドラフトを広報より関係者に事前にメールで展開し事前チェックを行う。教会委員の鈴木子門さんも今後サポートを予定。
- \* 受付：特になし

### 4. その他

- \* 今年のペトロ・パウロ祭は6/26、初聖体は5/29、バザーは10/23に開催予定。
- \* カレンダー、手帳の売上金は営繕積立金とする。

次回教会委員会は2月14日（日）12：15～  
次回活動G合同会議は2月21日（日）12：15～

以上

## 2016年 四旬節・聖週間のお知らせ

灰の水曜日	2月10日(水)	午前6時30分	灰の式、大斎・小斎
	2月13日(土)	午後6時30分	灰の式
	2月14日(日)+	午前8時30分	;
		午10時30分	;
十字架の道行き	2月12日(金)	午後7時30分	小斎
十字架の道行き	2月19日(金)	同上	;
十字架の道行き	2月26日(金)	同上	;
十字架の道行き	3月4日(金)	同上	;
十字架の道行き	3月11日(金)	同上	;
十字架の道行き	3月18日(金)	同上	;
十字架の道行き	25日・聖金曜日	午後3時	大斎・小斎
四旬節黙想会 指導司祭 谷崎新一郎神父 (コンベンツアレ聖フランシスコ修道会)	2月28日(日)  (当日は午前8時にもミサがあります。)	午前9時30分ミサ	司式：谷崎新一郎神父
		10:40~11:30	第一講話
		11:30~12:00	黙想
		(12:00~12:45)	(昼食)
		12:45~13:30	第二講話
		13:30~14:00	十字架の道行き
14:00~	ゆるしの秘跡		

### ☆ 聖週間

受難の主日 (枝の主日)	3月19日(土) 3月20日(日)	午前6時30分ミサ 午前8時30分ミサ 午前10時30分ミサ	中庭から枝の行列
聖木曜日	3月24日(木)	午後7時30分ミサ	主の晩餐の夕べのミサ 洗足式・聖体安置式
聖金曜日	3月25日(金) 大斎・小斎	午後3時 午後7時30分	十字架の道行き 主の受難の典礼
聖土曜日 復活徹夜祭	3月26日(土)	午後7時30分	光の祭儀 洗礼式
復活の主日	3月27日(日)	午前8時30分ミサ 午前10時30分ミサ	ミサ後ホールで祝賀会



## こよみ

### 2月

- 2月 5日(金) 日本 26 聖人殉教者  
2月 7日(日) 年間第 5 主日  
2月 8日(月) 聖ヒエロニモ・エミリアニ  
2月 10日(水) 灰の水曜日  
2月 11日(木) ルルドの聖母(世界病者の日)  
2月 12日(金) 十字架の道行き 午後 7 時 30 分～  
2月 14日(日) 四旬節第 1 主日  
2月 19日(金) 十字架の道行き 午後 7 時 30 分～  
2月 21日(日) 四旬節第 2 主日  
2月 22日(月) 聖ペトロの使徒座  
2月 23日(火) 聖ポリカルポ司教殉教者  
2月 26日(金) 十字架の道行き 午後 7 時 30 分～  
2月 28日(日) 四旬節第 3 主日

### 3月

- 3月 4日(金) 十字架の道行き 午後 7 時 30 分～  
3月 6日(日) 四旬節第 4 主日  
3月 7日(月) 聖ベルベトゥア 聖フェリチタス殉教者  
3月 8日(火) 聖ヨハネ・ア・デオ修道者  
3月 9日(水) 聖フランシスカ (ローマ) 修道女  
3月 11日(金) 十字架の道行き 午後 7 時 30 分～  
3月 13日(日) 四旬節第 5 主日  
3月 17日(木) 日本信徒発見の聖母 聖パトリック司祭  
3月 18日(金) 十字架の道行き 午後 7 時 30 分～  
3月 19日(土) 聖ヨゼフ  
3月 20日(日) 受難の主日(枝の晩餐)  
3月 24日(木) 聖木曜日(主の晩餐)ミサ午後 7 時 30 分～

洗足式・聖体安置式

- 3月 25日(金) 聖金曜日 十字架の道行き 午後 3 時～  
・主の受難の典礼午後 7 時 30 分～  
3月 26日(土) 聖土曜日復活徹夜祭・光の祭儀・洗礼式 午後 7 時 30 分～  
3月 27日(日) 復活の主日 午前 10 時 30 分のミサ後 ホールで祝賀茶話

## あとがき

- ◇ 大変遅くなりましたが、「おとずれ新年号」です。
- ◇ さる、1月21日に教皇フランシスコは日本のカトリック教会が、念願にしていた「ユスト高山右近の殉教者」を公式に宣言する教令に署名し、列福を正式に承認されました。
- ◇ 今号の「おとずれ」には、湯澤神父様は「四旬節」と題しての巻頭言を掲載しています。四旬節中の犠牲について、詳しく記されています。
- ◇ 以前教会で宣教クララ修道会のSr吉田富美子がシエラレオネのエボラ出血熱のお話を伺いましたが、待望の「エボラフリー」が宣言された旨の記事を掲載しております。
- ◇ 次号「復活号」（が第61巻 第2号）は、2016年3月27日発行です。



『おとずれ』第61巻 第1号 2016(平成28)2月7日発行

発行 カトリック三軒茶屋教会  
編集・印刷 カトリック三軒茶屋教会・広報委員会

主任司祭：ミカエル 湯澤 民夫

〒154-0024 世田谷区三軒茶屋 2-51-32

TEL 3421-1605 FAX 3421-9788

<http://home.f05.itscom.net/sancha/index.htm>

[sancha-catholic0629@leaf.ocn.ne.jp](mailto:sancha-catholic0629@leaf.ocn.ne.jp)